

保育に関する研修

2月7日（水）に1・2学年の生徒を対象に、みどりこども園の園長の五十嵐孝子様を講師に迎え、「保育に関する研修」を実施しました。研修には、職員の皆様と園児の皆様にも来校いただき、グループにわかれて、集団遊びを体験させていただきました。

今回の集団遊びでは、友達との関わりやコミュニケーション、ルールを学ぶとともに、体を動かすことの大切さを学ぶことをねらいとして、3つの遊びを準備していただきました。

1つめは「爆弾ゲーム」です。グループごとに輪になって、音楽に合わせて、爆弾に見立てたボールを隣の人に、投げずにしっかりと手渡していきます。音楽が止まった時にボールを持っていた人が負けとなり、輪から抜けて、応援する人になります。徐々にボールの数が増え、人数は減っていくので、難易度が増していきます。

2つめは「新聞紙ゲーム」です。広げた新聞紙の上に立って、こども園の先生とじゃんけんをして、負けたら新聞紙を半分に折ります。新聞紙の上に立っていられなくなったら負けとなります。

3つめは「じゃんけん列車」です。こども園の先生の声にあわせて列車となって歩き、目の前の人とじゃんけんをします。負けたら相手の方につかまるので、徐々に長い列車になっていきます。

生徒は、それぞれのゲームを先生の言葉がけに注意して楽しく参加していました。歓声や拍手、園児との触れ合いがあり、寒かった会場もいつの間にか温まりました。

楽しく集団遊びをした後は、紙芝居でこども園の先生の仕事を学びました。

最後は、園児の皆様の手作りのプレゼントをいただき、名残惜しそうに手を振る姿がありました。こどもたちも、「楽しかった！」と言って帰って行きました。

五十嵐園長先生、みどりこども園の皆様、大変ありがとうございました。



生徒の感想 研修の中で印象に残ったこと・感想など

- ・保育士が子どもとどのように接するのか。
- ・子どもの立場になって話をしたり、遊んだりする。
- ・親の仕事半分、保育士の仕事半分。
- ・保育士の方がわかりやすい言葉がすぐに出てくるのがすごいと思った。
- ・子どもたちだけでなく、先生たちも楽しそうにやっていた。
- ・子どもたちに合わせて遊びを考えるのがすごいと思った。
- ・あそびを通して学びを身につけさせること。
- ・社会性を身につけさせること。
- ・保育士は子どもたちにとってはお母さんだということ。
- ・保育士の一日は長いということ。
- ・約12時間子どもと接し続ける。
- ・普段体験できないので、貴重だし、楽しかった。
- ・保育士はやりがいがありそうだった。
- ・明るさ、元気、お母さん、お父さんの心が先生には必要。
- ・色々なことで遊ばせて、経験を積み、道具の使い方も教える。
- ・言葉のわからない赤ちゃんにも話しかけて言葉を教えている。
- ・こども園は、幼稚園と保育園の機能があること。
- ・みどりこども園の子どもたちがニコニコしていたこと。
- ・子どもたち一人一人を注意して見て、平等に接しているところ。
- ・最低限の手助けをして、自由に活動させているところ。
- ・保育士さんがいつでも笑顔を絶やさないこと。
- ・紙芝居でこども園のお仕事を知ることができて良かった。
- ・いろんな遊びで園児と交流を深められた。
- ・保育士さんの盛り上げ方がすごかった。サポートもすごかった。
- ・ゲームが懐かしかった。
- ・保育士は、いろいろな準備をして子どもたちと接している。
- ・子どもだけでなく、大人の人たちともコミュニケーションで仲を深めること。
- ・保育士は大変だと思うけど、子どものために、すごいなと思った。
- ・保育士の方たちは、本当に子どもが好きなんだなと感じた。
- ・生活習慣やルールなど社会常識を身につけさせる。
- ・保育士はすごく仕事が多いこと。ただ子どもと遊ぶだけでなく、社会性なども身につけさせるということ。
- ・コミュニケーションが大事だとわかりました。
- ・保育教諭の役割が「そんなことも？」と思う役割もあったことに驚いた。
- ・保育教諭の方の一日の仕事内容がとてもハードで大変そうだった。



今後の高校生活に活かしたいこと

- ・相手の立場になって行動する。
- ・子どもに優しく接する。みんなに優しく接する。
- ・みんながわかりやすいような言葉を使う。
- ・伝わるように話す。
- ・幼い頃から社会性を身につけさせてもらっていたことに感謝。
- ・子どもが楽しく遊んでいる姿に元気をもらった。この元気を今後の高校生活に活かしたい。
- ・職場見学に行きたい。
- ・何事も挑戦する気持ちを持つこと。
- ・勉強を頑張ろうと思った。
- ・コミュニケーション、笑顔。
- ・人との触れ合いを大切にしていきたいと思いました。
- ・人との触れ合い、接し方を学んだ。
- ・人とのコミュニケーションをもっとよくしていきたい。
- ・周りをよく見て行動し、誰にでも平等に接する力をつけていきたい。
- ・どんな状況でも臨機応変にできるようにしたい。
- ・楽しむ時は、楽しむ。
- ・積極性。
- ・コミュニケーションはいつでも必要だけれど、意外と難しく、苦手なので、いろいろな人と話したいと思った。
- ・進路の参考になった。
- ・どんな人とも仲良くしたいと思った。
- ・子どもたちに負けないほどの元気を出していきたい。
- ・保育士以外にも子どもと関わる機会は人生でたくさんあるので、今回のような行事や普段の生活などで、子どもたちと良い交流をするにはどのようにしたらよいのかを学ぼうと思います。
- ・保育教諭になりたいという気持ちは今はまだないが、将来自分が親の立場になったときに参考になりそうなお話がたくさんあった。今から、「明るい」、「元気」だけでも活かせることを活かしていきたい。
- ・話をよく聞き、自分で考えられるようになること。
- ・口調や声の大きさが大事だと思った。同世代になると、口も悪くなるから気をつける。
- ・何事も全力で楽しく行うこと。

